

食育だより

令和3(2021)年
12月号

豊中市立第一中学校

今年も残り1ヵ月となりました。それぞれの目標は達成できそうですか？

さて、国連WFP(世界食糧計画)は昨年2020年ノーベル平和賞を受賞しました。

国連WFPは1961年に飢餓のない世界を目指して創設され、紛争地への食料供給や途上国の学校給食の提供などの活動を行い、地域社会と協力して栄養の改善と復興・回復に向けた強い社会づくりに取り組んでいます。

世界の食料事情と国連WFP

国連WFPのホームページには、現在世界が直面している問題と、国連の主な活動が紹介されています。<https://ja.wfp.org> (右のQRコード)



11人に1人が
うがえで苦しむ



世界の11人に1人が十分な食料を得られない状況で生活しています。最新の報告書では、新型コロナウイルスや気候変動等の影響でさらに増加し、最大8億1100万人と推計されました。

深刻な
食品ロス



世界でつくられた食料の約1/3が失われ、むだになっています。世界の人口を養うのに十分な食料が生産されているにもかかわらず、8億人以上が毎晩空腹で眠りについています。

学校給食が子どもの
学びを支える



世界の数多くの子どもが毎日空腹のまま学校に通い、授業に集中できていません。学校給食は栄養や健康状態を改善するだけでなく、子どもたちの学校での学びを支える大きな力になります。

小さな子どもと
保護者のための支援



2歳までに十分な栄養をとれないと、体の発達が遅れ、影響が生産に渡るおそれもあります。健康のために食事を選択できる力を高める支援も行います。

災害・紛争時の
緊急支援



紛争や大災害が起きたとき、まず必要となるのが食料です。国連WFPはいち早く被災地に入り、人々に生き延びてくための食料を届けます。

日本の食文化 餅つきのいわれ

